

設問 1-1 別紙「図版群」の図①～⑧について、以下の問いに答えなさい。

- ・ 図①～⑧の名称を「欄Ⅰ」の上段に記入しなさい。
- ・ 図①～⑧の建築年代を「欄Ⅰ」の下段に記入しなさい（○世紀ないしは○○時代でよい）。
- ・ 図①～⑧の建築について、その主要な特徴を「欄Ⅱ」にまとめなさい。

	欄 I	欄 II
①		
②		
③		
④		
⑤		
⑥		
⑦		
⑧		

設問 1-2 別紙「図版群」の図 A は、江戸時代の姫路城下町です。この図 A を用いて城下町の構成原理について解説しなさい。

[illegible]

設問 1-3 別紙「図版群」の図Bは、明治末頃の典型的な中産階級の住宅です（保岡勝也『欧化した日本』）。この住宅の建築的な特徴について解説しなさい。なお、以下の用語を用いること。

[illegible]

設問 1 図版群



図 ①



図 ②



図 ③



図 ④



図 ⑤

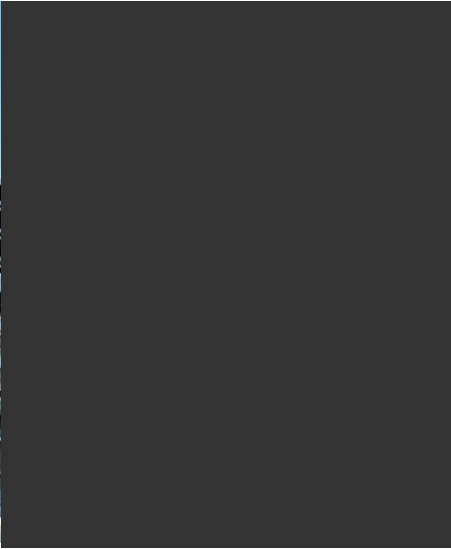


図 ⑥



図 ⑦



図 ⑧



図 A



図 B

研究分野	受験番号	

平成30年度 東京藝術大学大学院美術研究科建築専攻 修士課程選抜試験 [建築史]

設問2-2

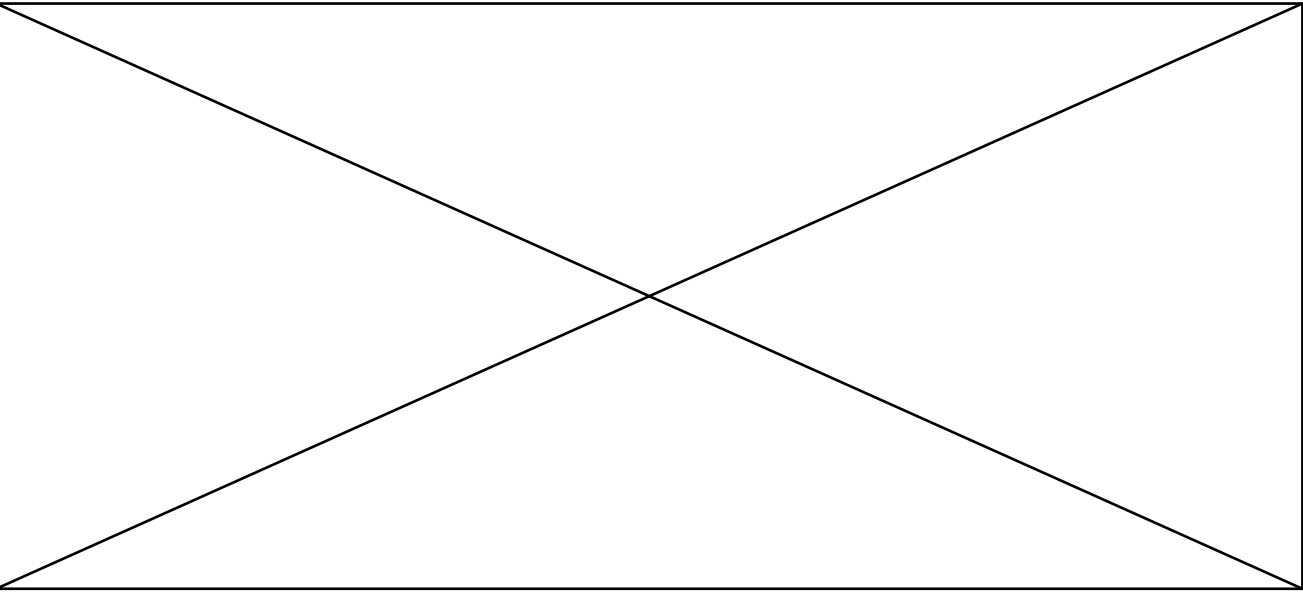
15世紀前半のフィレンツェで、同時代を生き、初期ルネサンス建築を牽引した、ブルネレスキ、アルベルティ、ミケロツォの役割と実現した建築について、各々述べなさい。

[illegible]

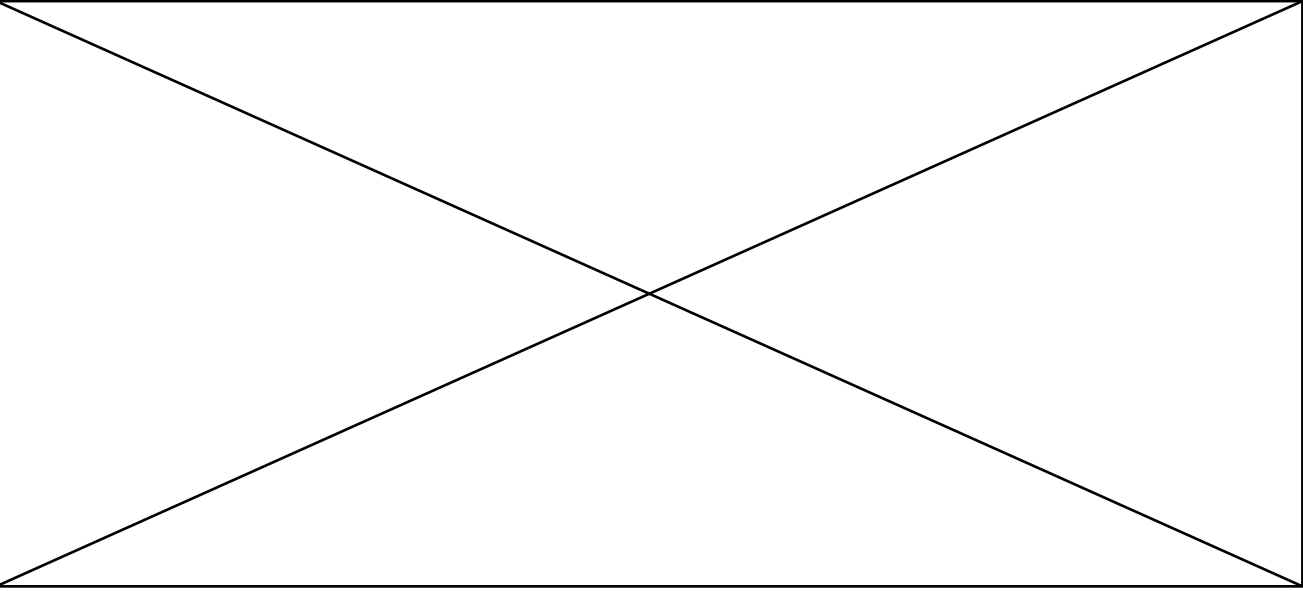
研究分野	受験番号	

(1)から(3)を和訳しなさい。

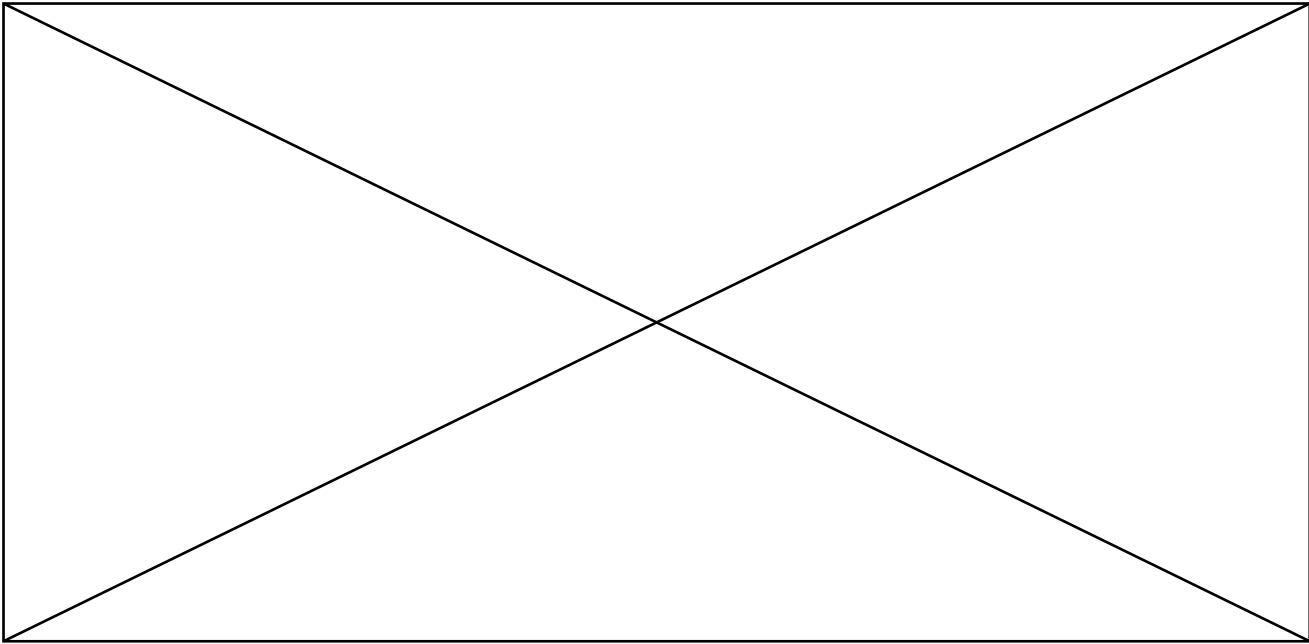
(1)



(2)



(3)



[All texts were adapted from ‘If I Had To Teach You Architecture’ by Le Corbusier, published in ‘Projects - Architectural Association 1946-71’, pages 111-3, published by the Architectural Association 1971; originally published in Focus 1, 1938.]

(出題にあたって文意を損なわない範囲で語句の変更を行っています)

平成30年度 東京藝術大学大学院美術研究科建築専攻 修士課程選抜試験 [英語]

研究分野	受験番号	

(1)

[illegible]

(2)

[illegible]

(3)

[illegible]

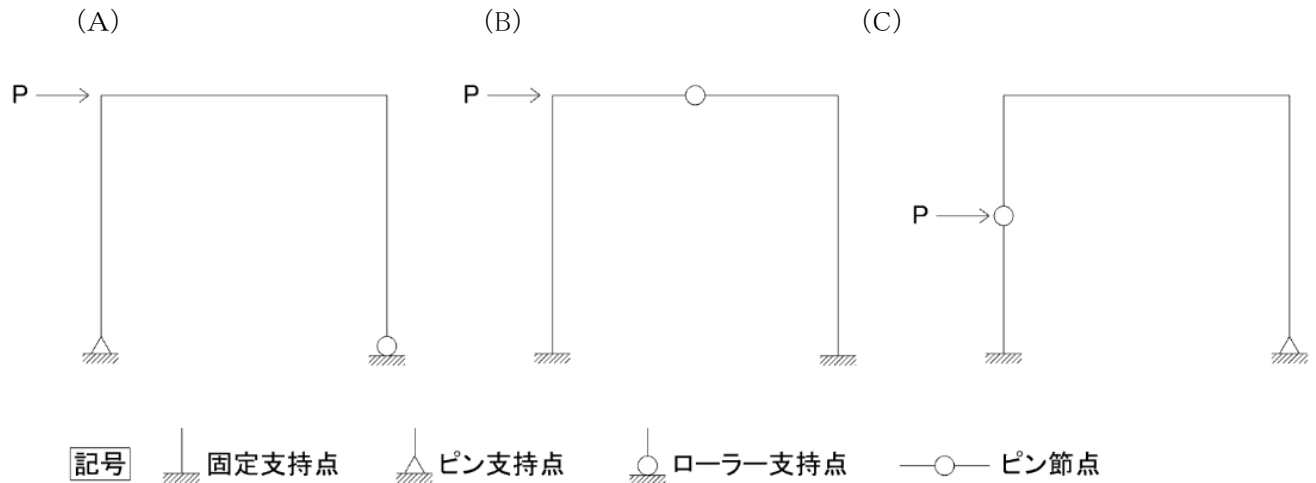
研究分野	受験番号	

平成 30 年度 東京芸術大学大学院美術研究科建築専攻 修士課程選抜試験 [構造力学]

[1] 架構の応力と変形

次の架構の応力図(N、Q、M)と変形図を求めよ。変形図には反曲点位置及び曲げ変形方向を明記すること。

* 解答は、解答用紙—1に書くこと。



[2] 架構と構造用語

次の用語群(A)の用語を 2 つ以上自由に組み合わせ、以下の4つについて、その構造的特長をダイアグラムと文章により説明せよ。用語は複数回使っても構わないものとする。

- (1) 豊島美術館
- (2) サグラダ・ファミリア
- (3) 関西国際空港ターミナル大屋根
- (4) 明石海峡大橋

用語群(A)

アーチ、トラス、ドーム、シェル、スペースフレーム、ラーメン構造、耐震、免震、吊り構造、木構造、膜構造、鉄骨造、鉄筋コンクリート、プレキャストコンクリート、壁構造、ブレース、ピン構造、風荷重、地震力、自重、積載荷重、カテナリー、組積造、

* 解答は、解答用紙—2に書くこと。

研究分野	受験番号	

平成 30 年度 東京芸術大学大学院美術研究科建築専攻 修士課程選抜試験 [構造力学]
解答用紙—1

[1] 架構の応力と変形 (5 点 x 12 = 60 点)

	(A)	(B)	(C)
N 図			
Q 図			
M 図			
変形図			

研究分野	受験番号	

平成 30 年度 東京芸術大学大学院美術研究科建築専攻 修士課程選抜試験 [構造力学]
解答用紙—2

[2] 架構と構造力学用語 (10 点 x 4 = 40 点)

(1) 豊島美術館

使用した用語:

(2) サグラダ・ファミリア

使用した用語:

(3) 関西国際空港ターミナルビル大屋根

使用した用語:

(4) 明石海峡大橋

使用した用語:

問題用紙①

研究分野	受験番号	

平成30年度 東京藝術大学大学院美術研究科建築専攻 修士課程選抜試験〔設計実技試験〕

この試験は問題1（9:00-11:30）と問題2（13:00-17:00）との2つの問題で構成される。
なお、問題2の問題文は11:30に配布する。

問題1（9:00-11:30）

本学近隣の住宅地に所在する敷地に、与えられたプログラムを持ち、周辺地域の魅力を高める建築を設計して下さい。

〔敷地〕（添付資料を参照）

- ・変形敷地の角地
- ・面積:約300㎡

〔要望〕

- ・自然光を効果的に取り入れた展示に対応すること
- ・映像展示にも対応すること
- ・大型の立体作品の搬入出に対応すること
- ・曲線を1箇所以上効果的に用いること
- ・勾配屋根を掛けること
- ・駐車場1台を設けること
- ・エレベーター（バリアフリー対応）を設けること

〔プログラム〕

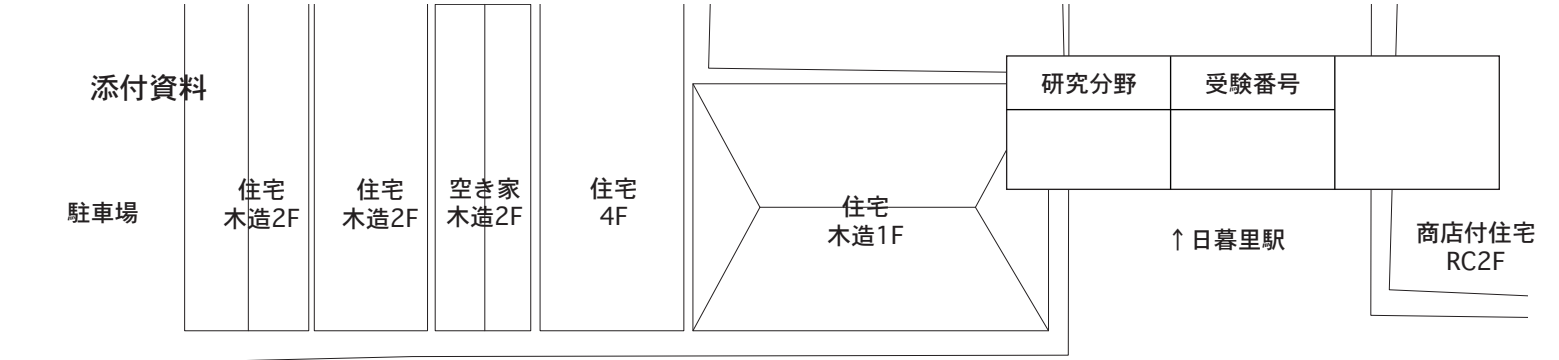
- ・全体床面積 400㎡（各機能を適宜配分すること）
- ・ギャラリー約100㎡（現代アート作品の企画展示）
- ・カフェ+ショップ
- ・ライブラリー
- ・コミュニティキッチン
- ・トイレ（男・女・多機能）
- ・事務室（スタッフ2名）
- ・応接室

〔提出物〕（11:30に終了、以後の書き込みを禁止する）

- ・解答用紙① 設計趣旨200字
- ・解答用紙② 配置図・各階平面図および立面図・断面図1/100
A2ヨコ使いとする

〔配布物〕

- ・問題用紙① 1枚
- ・添付資料 1枚
- ・解答用紙① A4判普通紙 1枚
- ・解答用紙② A2判ケント紙 1枚
- ・エスキス用 B4判普通紙 5枚
- ・エスキス用 A2判トレーシングペーパー 3枚
- ・着彩試し塗り用 A2判ケント紙 1枚



解答用紙①

(解答欄1)

研究分野	受験番号	

[illegible]

問題用紙②

研究分野	受験番号	

平成30年度 東京藝術大学大学院美術研究科建築専攻 修士課程選抜試験 [設計実技試験]

問題2 (13:00-17:00)

他の受験生が設計した解答を見回したうえで、自身が午前中に設計した解答を第1案とし、それを分析的・批判的に観察し自己批評して下さい。その自己批評をもとに、第2案を設計して下さい。

[提出物]

- ・ 解答用紙③ 自己批評200字（解答欄2）
設計趣旨200字（解答欄3）
- ・ 解答用紙④ 配置図・各階平面図および立面図・断面図1/100
パース
A1ヨコ使いとすること

[配布物]

- ・ 問題用紙② 1枚
- ・ 解答用紙③ A4判普通紙 1枚
- ・ 解答用紙④ A1判ケント紙1 1枚

[スケジュール]

- | | |
|-------------|-------------|
| 11:30 | 問題1終了/問題2配布 |
| 11:30-12:00 | 見回り |
| 12:00-12:30 | 昼休憩（別会場に移動） |
| 12:30-13:00 | 自由時間（見回り可） |
| 13:00 | 問題2解答用紙配布 |
| 17:00 | 終了 |

解答用紙③

(解答欄2)

研究分野	受験番号	

[illegible]

(解答欄3)

[illegible]